



令和3年5月20日

各 位

会社名 パルステック工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 幸博
(コード番号 6894 東証第二部)
問合せ先 取締役管理部長 工藤 孝史
(TEL. 053-522-5176)

(訂正) 「令和3年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

令和3年5月12日に発表いたしました「令和3年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「令和3年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、セグメント情報の一部に誤りがあることが判明したため、これを訂正するものであります。なお、訂正箇所には下線 を付して表示しております。

2. 訂正箇所

<添付資料 2ページ>

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<添付資料 12ページ>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
5. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

3. 訂正内容

【訂正前】

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<中略>

X線残留応力測定装置関連につきましては、中止や延期となっていた国内外の展示会、学会、内覧会等が一部で再開されたものの、開催内容の縮小や来場者の減少により集客が困難となり、SNSによる情報発信やWEB会議などを積極的に取り入れ受注確保に注力いたしましたが、設備投資予算の凍結や導入時期の先送りなどの影響により厳しい状況で推移し、売上高は5億10百万円（前年同期比24.2%減）、セグメント利益は1億19百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

ヘルスケア装置関連につきましては、遺伝子検査装置、その他医療機器の受託開発やリピート受注に加え、新たな受託開発・試作・量産等の引合いも好調に推移したことから、売上高は7億6百万円（前年同期比21.4%増）となりましたが、量産品の本格生産立上げに伴う一時的な製造原価の増加や生産調整の影響により、70百万円のセグメント利益（前年同期比13.4%減）となりました。

光応用・特殊機器装置関連につきましては、主要顧客からの専用検査装置は引き続き堅調に推移したものの、生産調整による出荷台数の減少に加え新たな個別案件の引合いも減少傾向で推移したことから、売上高は8億72百万円（前年同期比17.9%減）、セグメント利益は2億64百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

【訂正後】

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<中略>

X線残留応力測定装置関連につきましては、中止や延期となっていた国内外の展示会、学会、内覧会等が一部で再開されたものの、開催内容の縮小や来場者の減少により集客が困難となり、SNSによる情報発信やWEB会議などを積極的に取り入れ受注確保に注力いたしましたが、設備投資予算の凍結や導入時期の先送りなどの影響により厳しい状況で推移し、売上高は5億10百万円（前年同期比24.2%減）、セグメント利益は1億10百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

ヘルスケア装置関連につきましては、遺伝子検査装置、その他医療機器の受託開発やリピート受注に加え、新たな受託開発・試作・量産等の引合いも好調に推移したことから、売上高は7億6百万円（前年同期比21.4%増）となりましたが、量産品の本格生産立上げに伴う一時的な製造原価の増加や生産調整の影響により、38百万円のセグメント利益（前年同期比52.2%減）となりました。

光応用・特殊機器装置関連につきましては、主要顧客からの専用検査装置は引き続き堅調に推移したものの、生産調整による出荷台数の減少に加え新たな個別案件の引合いも減少傾向で推移したことから、売上高は8億72百万円（前年同期比17.9%減）、セグメント利益は2億55百万円（前年同期比31.8%減）となりました。

【訂正前】

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	510,602	706,626	872,813	2,090,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	510,602	706,626	872,813	2,090,042
セグメント利益	<u>119,009</u>	<u>70,603</u>	<u>264,553</u>	<u>454,166</u>
セグメント資産	354,904	450,252	542,211	1,347,368
その他項目				
減価償却費	28,966	7,824	13,998	50,789
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,270	6,255	3,027	11,553

【訂正後】

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	510,602	706,626	872,813	2,090,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	510,602	706,626	872,813	2,090,042
セグメント利益	<u>110,735</u>	<u>38,968</u>	<u>255,792</u>	<u>405,497</u>
セグメント資産	354,904	450,252	542,211	1,347,368
その他項目				
減価償却費	28,966	7,824	13,998	50,789
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,270	6,255	3,027	11,553

【訂正前】

5. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	644,495	454,166
全社費用(注)	△308,792	△311,193
棚卸資産の調整額	15,806	16,919
連結財務諸表の営業利益	351,509	159,892

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

【訂正後】

5. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	644,495	405,497
全社費用(注)	△308,792	△262,524
棚卸資産の調整額	15,806	16,919
連結財務諸表の営業利益	351,509	159,892

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

以上